

1 学習に取り組んでいる主な分野

☐ 生物多様性	☐ 海洋	☐ 防災・減災	☐ 気候変動
☐ エネルギー	☒ 環境	☐ 文化多様性	☒ 世界遺産・文化財
☐ 国際理解	☐ 平和	☐ 人権	☐ ジェンダー平等
☒ 福祉	☐ 生産と消費	☐ その他（ ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校では、「体験活動を通して地域のよさを感じ取り、広く発信する」ことを活動目標にして、E S Dに取り組んだ。特に、「持続可能な開発および持続可能なライフスタイル」の実現に向けて、子ども達に必要な資質能力を身に付けさせることを目標とした。低学年では、生活科の学習と関連させて学校の行き帰りの道や学校周辺にある歴史遺産の見学を行うようにした。中学年では、地域に残る民話や伝説を調べ紙芝居や絵本を作ったり、地域の史跡などをカルタに表したりする創作活動を行った。高学年では、大蛇山や三池藩に絞り起源や歴史を探り新聞にまとめて地域に発信した。



3 特徴的な活動事例の紹介

○4年生「一枚のカルタから」ー地域の史跡をカルタに表す学習

三池が日本のカルタ発祥の地と言われることから、4年生では三池に残る「人・もの・こと」について調べたことをカルタにまとめて、保護者や地域の方に発信する学習に取り組んだ。

まずは、大牟田市作成の「郷土カルタ」で遊びながら校区内には有名な自然や史跡があることを見つけた。

それから、「三池の歴史を学ぶ会」の方から三池の歴史や史跡についてのお話を聞き、実際に案内してもらってフィールドワークを行った。

そうすると三池にはたくさんのお寺や神社をは



じめ、三池藩ゆかりの建物などが残っていることが分かった。それらをインターネットや本で詳しく調べて、学年みんなで分担して、三池小学校4年生のオリジナルカルタづくりを行った。絵札や読み札を作っていく中で、三池の自然や今も残る史跡の素晴らしさを改めて感じる事ができた。作ったカルタを使ってみんなで遊んだり、家族や地域の方に紹介したりするなどして、三池のよさを発信している。



○ 5年生「三池地区の環境について調べよう」－堂面川の水質調査学習

三池小学校のE S Dのもう一つのテーマは、「三池の環境を調べよう」というものである。3年生では、大牟田市制100周年記念事業で作られた『三池山の自然 ガイドブック』を手掛かりに三池に生息する植物や動物について調べ、新聞にまとめた。

また、5年生では、大牟田市環境保全課の方の協力を得て、校区内を流れる堂面川の水質調査を行った。陣屋眼鏡橋付近は堂面川の中流にあたり、上流ではまだ蜚が飛ぶほどきれいであるが、このあたりになると新しい住宅ができたりして家庭排水が流れ込み、だいぶ汚れているのではないだろうかという予想のもと、調査を行った。調査には、CODパックテストや指標生物の観察、透視度計を用いた。このような調査の結果、きれいな水にしかない生物が見られた。堂面川の中流はまだきれいなので、これを守っていかなければならないと感じた。



3 今後の活動計画

令和5年度も本校では、地域を対象とした学習は継続していきたい。今後はさらに「発信」に力を入れていきたいと考える。例えば、「三池の歴史を学ぶ会」の活動に学びながら、6年生による「子どもガイド隊」のような活動ができればよいと考えている。調べてわかったことを紙面やP Cにまとめるだけでなく、子どもたちが自分の言葉で史跡を案内できたり解説を加えたりすることができれば、「次の担い手は自分たち」という意識がさらに高まると考えるからである。また、ほかの学年でも、発信するという相手意識をもって表現物等にまとめる活動を行えば、より一層子どもたちが意欲的に学習に取り組めるようになると思う。そのためにも、「だれに」「どのように」発信するかまでを計画段階で考えたストーリーを今以上に丁寧に描いていきたい。